

2019年度 第1回

福山大学 教養講座

「瀬戸内の民間信仰—神仏を求めて
～石鎚信仰・四国遍路～」

6月5日(水) 10:30～11:50

《 大学会館ホール 》

東京家政學院大學名誉教授
一般財団法人古橋懷古館名誉館長
講師 西海 賢二 先生

瀬戸内沿岸や四国の石鎚山・四国遍路の民間信仰に興味をもってから四十五年ほどになります。この間通算すると5年近くを愛媛県の石鎚山麓で生活する機会を得ました。さらに石鎚山の登拝100回余、四国の乞食遍路などを体験しました。この体験をもとにこれまで山岳信仰と地域社会との繋がりなどを、より民俗世界に学びつつ、「歴史民俗資料学」の立場から、近世中期以降の研究を山岳側からの視点だけでなく、信仰を受容した側の「地域社会」に関連した研究の在り方を模索しながら、わけても今日の潮流になりつつある「地方創生」との関連から話題提供ができればと考えております。



【一般の方へ】 聴講を希望される方は公共交通機関をご利用のうえ直接会場にお越しください。